

旧板橋第四中学校跡地施設整備構想・計画 中間のまとめ

令和8年3月

目次

第1章 はじめに

- 1 経緯・計画策定の趣旨..... 3
- 2 旧板四中跡地活用方針..... 3
- 3 計画の位置づけ..... 5

第2章 旧板四中跡地の現状と課題

- 1 建物・敷地の状況..... 6
- 2 旧板四中跡地周辺の状況..... 34
- 3 問題点及び課題の整理..... 35

第3章 施設整備構想

- 1 基本方針・基本理念..... 44

第4章 施設整備計画の検討状況

- 1 建物構造・機能..... 46
- 2 運営方針..... 47
- 3 ゾーニング・動線の考え方..... 47
- 4 外構計画..... 47
- 5 その他整理すべき検討課題..... 47
- 6 整備・配慮すべき事項..... 47

第5章 事業手法・今後のスケジュールなど

- 1 事業手法..... 49
- 2 想定事業費..... 49
- 3 事業・工事スケジュール..... 49
- 4 跡地活用計画..... 49

第6章 住民・施設利用者意見まとめ

- 1 住民説明会の概要..... 50
- 2 施設利用者アンケート..... 52
- 3 小学生向けワークショップ..... 59
- 4 さくらの小径まつり意見聴取..... 63

※ 本資料については、整備構想・計画に関する中間まとめであり、検討の深度化に併せ、変更の可能性あります。

第1章 はじめに

1 経緯・計画策定の趣旨

- 旧板橋第四中学校（以下「旧板四中」）は、平成 18（2006）年 3 月末に閉校し、平成 19（2007）年 4 月から旧校舎を板橋フレンドセンター（以下「フレンドセンター」）として、旧体育館の 1 階を富士見地域センターとして使用しています。
- 平成 29（2017）年度に南部公園事務所（現・南部土木サービスセンター）を東板橋公園から移転しました。
- 令和元（2019）年度から令和 2（2020）年度にかけて、区の実施計画「いたばし No.1 実現プラン 2021」に基づいて、公共施設の配置検討を進める中で、富士見地区における課題の一つとして、旧板四中について検討を行い、方針案を作成して地域説明会を実施しました。
- 一方で、令和 3（2021）年 1 月に 1 年前倒しで策定した「いたばし No.1 実現プラン 2025」において、コロナ禍など社会環境の急激な変化を踏まえ、公共施設の新規工事着工を原則先送りの方針を示しました。このことから、集約・複合化にかかる方針決定については、令和 5（2023）年度以降としました。
- 令和 6（2024）年 1 月に策定した「いたばし No.1 実現プラン 2025 改訂版」に基づき、この間における社会環境の変化を踏まえつつ、次期基本計画を見据え、改めて旧板四中の跡地活用の検討に着手しました。
- これらの状況を踏まえ、令和 7（2025）年 3 月に策定した「旧板四中跡地活用方針」（以下、「活用方針」）を基に、住民説明会や施設利用者アンケート、小学生を対象としたワークショップなどを実施しました。
- このたび、旧板四中跡地施設整備構想・計画の策定に向けた中間のまとめを作成しました。引き続き様々なご意見を頂戴しながら、整備構想・計画の策定に向けて、検討を深めていきます。

2 旧板四中跡地活用方針

（1）基本的な考え方

旧板四中を中心とし、資産の有効活用により魅力とサービス・機能向上を図る観点から、令和 8（2026）年度を始期とする基本計画 2035 を見据え、広く区政課題を解決するため、令和 7（2025）年 3 月に活用方針を策定しました。

- 都営三田線板橋本町駅から徒歩 10 分以内かつ環状七号線沿道内にある立地を活かし、有効活用を検討します。
- 学校跡地という大規模な敷地を有効に活用する視点から、既存施設の機能充実や周辺施設の老朽化、適正配置などの課題に対応していくことを念頭に、跡地の有効活用を検討します。
- 将来の行政需要及び富士見地区周辺における公共施設ファシリティマネジメントの必要性に鑑み、区が土地を保有し続け、施設整備にかかる構想・計画を策定します。整備する施設におけるサービス・機能の検討にあたっては、実施主体は区のみならず、民間との連携も視野に入れ、魅力の創造・サービスの向上を図ります。
- 旧板橋第三小学校（以下「旧板三小」）の活用についても、旧板四中の検討と並行して行い、効果的・合理的な整備内容・スケジュール等を検討します。

(2) 活用のコンセプト

活用のコンセプトを4つ設定します。

- ① 未来を創る子ども・若者世代を応援「若者・地域交流拠点」
子ども・若者と地域住民などが自由に集い、活動・交流できるスペースのほか、カフェなどの付加機能を備えます。
- ② スポーツで育む交流と健康「多目的スポーツ広場」
ニーズに合わせてフレキシブルに利用可能な多目的広場を整備し、人工芝化や夜間運用を視野に入れた照明設備なども検討します。
- ③ 誰一人取り残さない「多様な学びの場」
フレンドセンターの配置・機能充実を図り、不登校の児童・生徒の学びの保障に資する、「安心して過ごせる居場所」を継続的に提供します。
- ④ 立地を活かした「防災力の強化」
環状七号線沿いの立地優位性活かし、災害時の対応力の強化を図ります。

(3) 課題解決の方向性／配置する機能

上記コンセプトなどを踏まえた、課題解決の方向性及び配置する機能は、以下のとおりです。

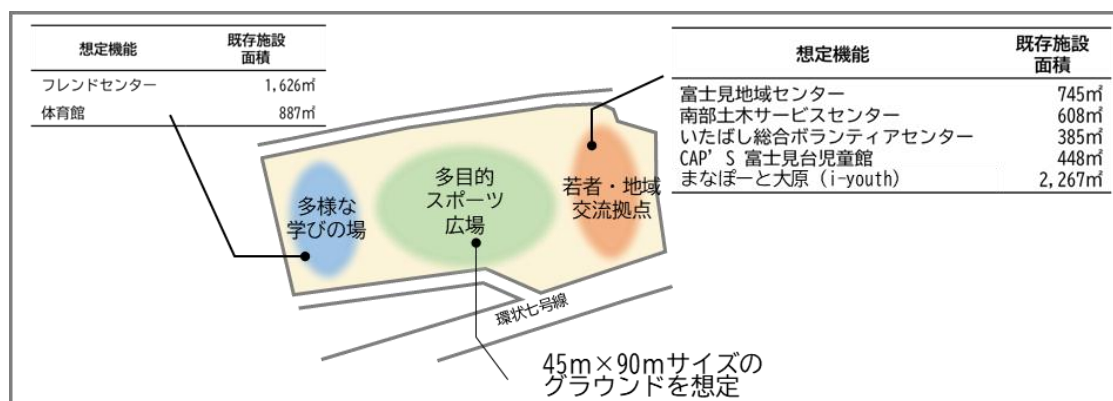
- ① 大原生涯学習センター（i-youth 含む）（以下「大原生涯学習センター」）の機能移転を軸に、児童館（CAP' S）、地域センター、ボランティアセンターと複合し、老朽化対応・適正配置の解決を図るとともに、人々の居場所づくり・交流を促進します。
- ② サッカー・ラグビー等の競技で利用可能な多目的スポーツ広場を整備し、区内のスポーツ振興を図ります。
- ③ フレンドセンターを集約・再整備することにより、効率的・効果的な運営の実現及び機能の充実を図ります。
- ④ 南部土木サービスセンターを引き続き配置し、ボランティアセンターとの連携も含め、平時／災害時の対応力強化を図ります。物資の運搬や備蓄が可能となる道路接道や備蓄倉庫などの整備について、避難所機能の存続も含めて検討します。

なお、このほか、公文書館や文書倉庫、旧板三小の暫定利用機能である更生保護サポートセンターなどについては、並行して検討し、移転先の確保など課題解決を図っていきます。

(4) ゾーニング案

(3) に示した配置する機能のゾーニング案は以下のとおりです。なお、今後の検討により、変更する可能性があります。

【図1】ゾーニング案



3 計画の位置づけ

(1)板橋区基本計画 2035

- 経費の縮減・平準化と併せて、時代の要請に対応し、今後進んでいくまちづくりなどとも連動しながら、安心・安全で魅力の創造につながる公共施設へ再編し、次世代へ引き継いでいくため、「公共施設の整備に関する基本方針」（以下「基本方針」）を明らかにしました。
- 基本方針では、（１）施設総量（総延床面積）の最適化（２）計画的な管理・保全による耐用年数の延伸（３）区有財産の有効活用（４）集約・複合化による多機能化と魅力ある公共施設への再編、以上４つの方針を示しています。

(2)いたばしNo.1 実現プラン 2028

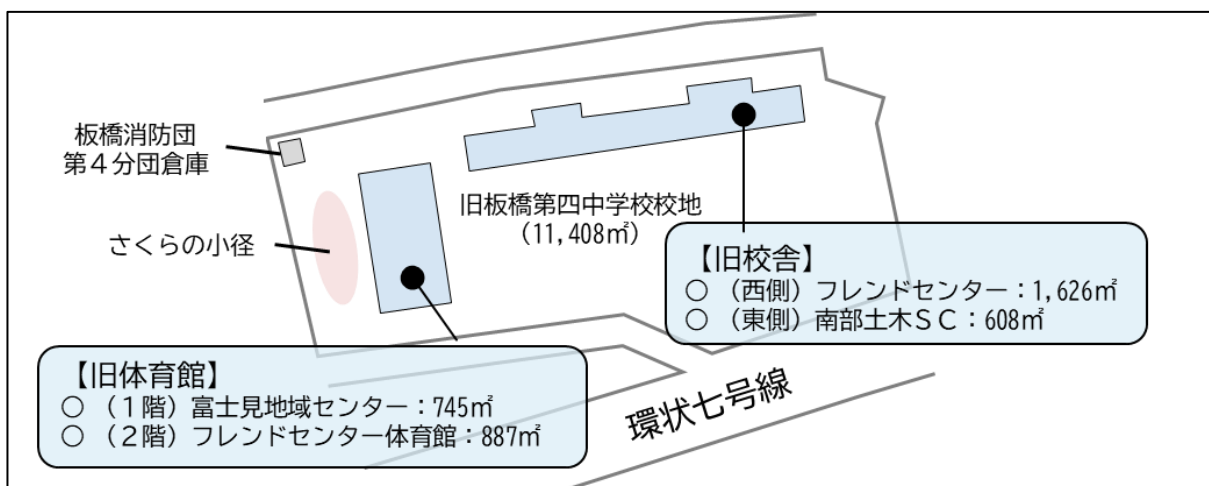
- 第２章「実施計画」の戦略的取組の展開において、「誰もが健やかに暮らし続けられる環境整備やデジタル技術の活用、多様性と包摂性に富んだ地域づくりを推進するとともに、人と人、人とまちのつながりを大切にする創造都市（クリエイティブシティ）として、多様な主体の協働・共創による新たな価値創出や地域課題の解決などにつなげる取組を展開」していく方向性を示しています。
- 第４章「公共施設等ベースプラン」公共施設ファシリティマネジメントの推進において、「広く区政課題を解決しながら、持続可能な施設経営を行っていくとともに、多様な主体・多世代が相互に結び付く、『新たな価値の創造とコミュニティの醸成・活性化につながる居場所づくり』の視点も踏まえた、公共施設の実現に向けてファシリティマネジメントを推進」していく方向性を示しています。
- また、その他公共施設の再編において、「今後、まちづくりなどの動向なども踏まえながら、魅力や行政機能の向上に資する公共施設の検討を進めます。」として、旧板四中跡地の活用推進の方向性を示しています。

第2章 旧板四中跡地の現状と課題

1 建物・敷地の状況

(1) 資産の現況

【図2】旧板四中現況配置図



所在地	東京都板橋区富士見町3-1
敷地面積	11,408 ㎡ (旧校舎側 : 8,583 ㎡、旧体育館側 : 2,825 ㎡)
施設延床面積	旧校舎 : 4,151 ㎡ 旧体育館 : 1,632 ㎡
構造	旧校舎 : RC造、地上4階 旧体育館 : RC造、地上2階
築年数	【旧校舎】 最東端 : 昭和37年(築63年) 中央部 : 昭和40年(築60年) 最西端 : 昭和53年(築47年) 【旧体育館】 昭和59年(築41年)
施設現況	【旧校舎】 フレンドセンター、南部土木サービスセンター、文書倉庫 【旧体育館】 富士見地域センター、フレンドセンター体育館、旧板四中記念室 【旧校庭】 フレンドセンター広場・南部土木サービスセンター

（２）各施設の基本情報

① フレンドセンター・フレンドセンター体育館（旧体育館２階）

【施設概要】

施設規模		延床面積：1,626 ㎡（校舎１階から４階の一部） 887.00 ㎡（体育館２階）
運営状況		開館時間：9:00-17:00 休館日：土日祝日、冬季休業日、春季休業日 運営者：教育委員会事務局 教育支援センター
諸室	１階	スタッフルーム、面接室、プレイルーム
	２階	スタディルーム、フューチャールーム、プライベートルーム、メイ ンルーム、図書室
	３階	相談室、ひみつきち
	４階	ランチルーム

【現況写真】

■ スタッフルーム



○スタッフの事務室として利用しており、一部給湯機能も併用しています。

■ 面接室



○通級面談、打合せ等で利用されています。

■プレイルーム



○卓球、音楽活動、室内遊戯など、多目的に利用しています。

■スタディルーム



○自習活動に利用されています。

■フューチャールーム



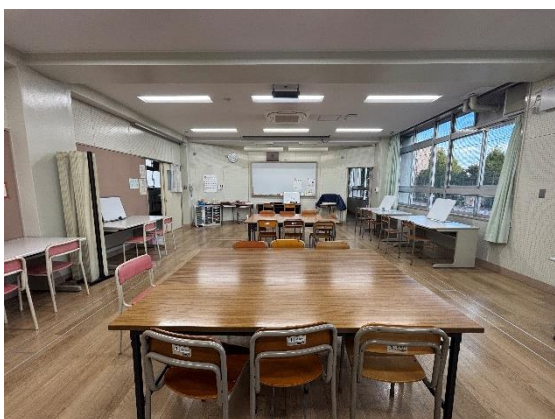
○進路指導に利用されています。

■プライベートルーム



○プライベートに配慮した設えで、個人活動等に利用されています。

■メインルーム



○学習活動、各種事業で利用されています。

■図書室



○主に読書活動に利用されています。

■相談室



○臨床心理士のカウンセリングルームとして利用されています。

■ひみつきち



○心理スタッフによる、対面支援専用ルームとして利用されています。

○オンラインでの交流が可能な設備を完備しています。

■ランチルーム



○様々な体験活動に利用されています。

■フレンドセンター体育館



○運動活動に利用されています。

②南部土木サービスセンター

【施設概要】

施設規模		延床面積：607.82 ㎡（校舎 1 階の一部）
運営状況		開館時間：8:30-17:00 休館日：土日祝日、年末年始(12/29-1/3) 運営者：土木部 南部土木サービスセンター
諸室	1 階	事務室、廊下・玄関、打合せスペース、休憩室・倉庫、資材置き場等

【現況写真】

■事務室



○職員の執務室として利用されています。

■廊下・玄関



○廊下に資料や備品が置かれています。玄関にはパトロール用の自転車が駐輪されています。

■打合せスペース



○業者との打合せや、内部打合せに利用されています。

■休憩室・倉庫



○書類等の保管や会議スペースとして利用されています。

■資材置き場



- 道路公園の補修等の材料置場として利用されています。
- 切断等、材料を加工する際に、切断音や粉じん等が発生するため、フレンドセンターの児童や近隣に迷惑が掛からないよう、作業時間や場所を考慮しています。

■外部



- 外部には資材が置かれており、また外部倉庫には洗濯機や什器が設置されています。

③富士見地域センター

【施設概要】

施設規模	延床面積：745.44 m ² （体育館1階）
運営状況	開館時間：9:00-21:30 （※施設予約受付は土日祝日を除く 9:00-17:00） 休館日：年末年始(12/29-1/3) 運営者：区民文化部 地域振興課
諸室	1階 レクリエーションホール、和室、洋室、事務室、会議室兼倉庫

【現況写真】

■レクリエーションホール



○カラオケ設備、長机、椅子が備えられており、南側壁面には全身鏡が設置され、会議、懇親会、カラオケ、演劇、ダンス等に利用されています。

■和室



○和室備品（座布団・高座椅子）が整備され、会議、懇親会、舞踊、書道、茶道、華道等に利用されています。

■洋室



○長机と椅子、小鏡が整備され、会議、懇親会、演劇、ダンス等に利用されています。

■事務室



○受付用のカウンターを介して奥側が執務空間となっています。

■会議室兼倉庫



○イベント時に使う用具等が格納されています。

④文書倉庫

【施設概要】

施設規模	延床面積：1,287.0 m ² （校舎1階から4階の一部）
運営状況	開館時間：平時の開放なし 休館日：年末年始(12/29-1/3) 運営者：総務部 総務課
諸室	1-4階 文書倉庫

【現況写真】

■ 1 階文書倉庫



○荷重を考慮して、1 階のみ、集密書架が置かれています。

■ 2 ～ 4 階文書倉庫



○各課で書類や書籍などが各教室に収納されています。

⑤ 旧板四中記念室

【施設概要】

施設規模	延床面積：30.0 m ² （体育館 1 階の一部）	
運営状況	開館時間：9:00~21:30	
	休館日：年末年始(12/29-1/3)	
	運営者：教育委員会事務局 新しい学校づくり課	
諸室	1 階	記念室

【現況写真】



○旧板四中の記念品を保管・展示し、一部物置となっています。

⑥旧校庭



○平日は、フレンドセンター利用者の運動の場として利用されています。

○東側は、南部土木サービスセンターがヤードスペースや備品置き場として利用しています。

(3) 敷地周辺状況

南側は、東京都道 318 号環状 7 号線に面しており、東側は、首都高速 5 号池袋線及び国道 17 号線、北側は、区道（富士見街道）が通っています。



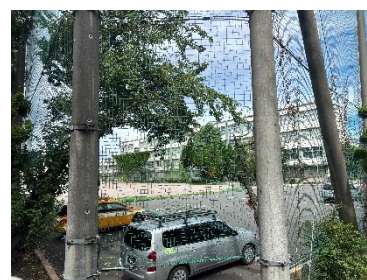
【旧板四中 周辺状況図】



①南側の小路



②環状七号線（歩道）からみた敷地



③環状七号線（歩道）からみた校庭



④東側の富士見街道



⑤校門東側



⑥北側道路



⑦北側道路からみた富士見児童遊園



⑧校門西側



⑨富士見地域センター入口



⑩北側道路（フレンドセンター側）



⑪体育館棟に隣接する桜の小径



⑫板橋消防団第四分団本部



⑬西側道路



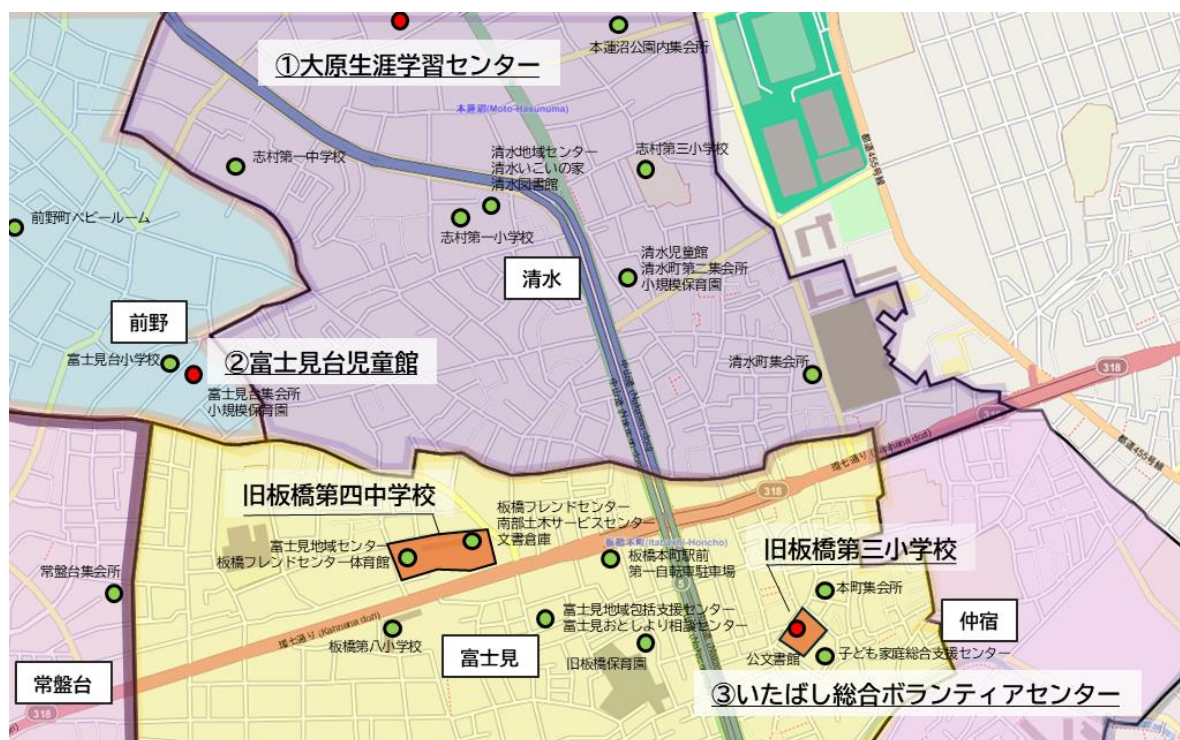
⑭南西交差点からみた敷地



⑮南側の小路

（３）周辺環境

【図３】主な施設配置図



○各施設の基本情報

①大原生涯学習センター

【施設概要】

所在地	東京都板橋区大原町 5 - 18	
施設規模	延床面積：2,267 m ²	
運営状況	開館時間：9:00-21:30 休館日：第 3 月曜日、年末年始(12/29-1/3) 運営者：教育委員会事務局 生涯学習課 ※i-youth 平日 午後 1 時から午後 9 時 土曜 午前 9 時から午後 9 時 日曜・祝日 午前 9 時から午後 5 時 三季（区立中学校に準ずる）休業日 午前 9 時から午後 9 時	
諸室	1 階	i-youth エリア（ユースコーナー、ライブラリ、スタッフルーム、更衣室、相談室、スタジオ）、調理実習室、調理準備室
	2 階	講義室-1、講義室-2、陶芸庫、陶芸窯、保育室、ロビー、職員用打合せスペース、I C T 学習室、事務室、職員更衣室（男女共用）
	3 階	まなぼーとホール、更衣スペース、集会室-1、集会室-2、会議室、和室

【現況写真】

■ユースコーナー



○歓談、音楽練習、イベント等で利用され、調理・飲食が可能です。

■ライブラリ



○学習、保育スペースとして利用されています。

■スタッフルーム



○受付、案内、職員の作業スペースとして利用されています。

■スタジオ



○レクリエーション活動、ダンス、卓球、イベント等に利用されています。
○南北壁面には姿見が設けられています。

■調理実習室



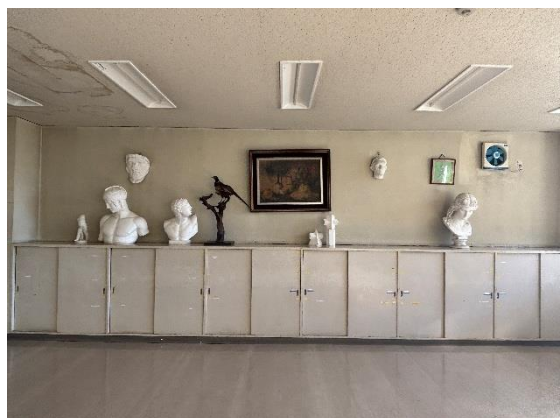
○調理実習等に利用されています。

■調理準備室



○調理実習室等で使う備品や用具が収納されています。

■講義室－ 1



○絵画、手芸、会議、学習会等にご利用され、戸棚には美術用具等が収納されています。

■講義室－２



○陶芸、書道等に利用されています。

■陶芸庫



○講義室－２に隣接する半屋外スペースに、陶器や備品等が収納された戸棚や陶芸用の水場が設置されています。

■陶芸窯



○講義室－２及び陶芸庫に隣接しており、制作した陶器を焼く窯と備品が置かれています。

■保育室



○一時保育スペースとして利用されています。

■ロビー



○登録不要で誰もが図書や広報誌、ボランティア情報等が閲覧でき、休憩スペースとしても利用されています。

■職員用打合せスペース



○ロビーの一角に設けられ、職員の打合せスペースとして利用されています。

■ I C T学習室



○ I C T相互学習、勉強会等に利用されています。

■ 事務室



○受付、案内、事務作業等に利用されています。

■ 職員更衣室（男女共用）



○事務室と隣接しており、職員用の着替え、倉庫として利用されています。

■まなぼーとホール



○西側壁面に姿見が設えられており、レクリエーション活動、ダンス、フェスティバル、利用者懇談会等に利用されています。

■更衣スペース



○まなぼーとホール前の廊下の一部分が更衣スペースとして利用されています。

■集会室－1



○音楽練習、会議、学習会等にご利用され、楽器等を収納した戸棚や据置ピアノが配置されています。

■集会室－2



○会議、書道、学習会等に利用されています。

■会議室



○会議、書道、学習会等に利用されています。

■和室



○和裁、会議、学習会等に利用され、茶華道の利用を想定した水場が備えられています。

■キッチンガーデン



○農作物が栽培されています。

②富士見台児童館

【施設概要】

所在地	東京都板橋区前野町 1-8-1	
施設規模	延床面積：448 m ² （建物延床：808 m ² ）	
運営状況	開館時間：9:00-17:00（月～金） ※土日祝日の 9:00-12:00 13:00-17:00 は民間委託で開放 休館日：年末年始(12/27-1/4) ※R7 年度時 運営者：子ども家庭部 子育て支援課	
諸室	2 階	遊戯室、キッズルーム、にこにこルーム、すくすくサロン、事務室、トイレ、倉庫、更衣室等

【現況写真】

■遊戯室



○プログラム、イベント、活動的な遊び場として利用されています。

■キッズルーム



○小学生を含む、自由な遊び場として利用されています。

■にこにこルーム



○乳幼児親子の自由な遊び場として利用されています。

■すくすくサロン



○乳幼児親子の自由な遊び場、ランチタイムに利用されています。

■事務室



○職員事務室として利用され、エントランスに向かって受付スペースが設けられています。

■共用部



○共有部には、おむつ交換台が設置されています。

③いたばし総合ボランティアセンター

【施設概要】

所在地	東京都板橋区本町 24-1	
施設規模	延床面積：397.04 m ² （建物延床：2,703.27 m ² ）旧板橋第三小校舎	
運営状況	開館時間：9:00-21:30 ※無休（年末年始・点検日除く。ただし。事務局は日・月休み） 運営者：地域振興課	
諸室	1 階	事務室 68.22 m ² 、第1 ボランティア・ NPO ルーム 68.22 m ² 第2 ボランティア・ NPO ルーム 24.05 m ² 第3 ボランティア・ NPO ルーム 22.80 m ² NPO サロン 68.22 m ²
	3 階	第4・第5 ボランティア・ NPO ルーム 133.92 m ²
	他	交流広場・駐車場 約 1,100 m ² 、その他、倉庫等

【現況写真】

■事務室



- ボランティアセンターの事務局として利用されています。
- 個人デスクと打合せスペースが配置されています。

■第1 ボランティア・NPOルーム



- ボランティア・市民活動・会議・講座等に利用されています。

■第2 ボランティア・NPOルーム



- ボランティア・市民活動・会議等に利用されています。

■第3 ボランティア・NPOルーム



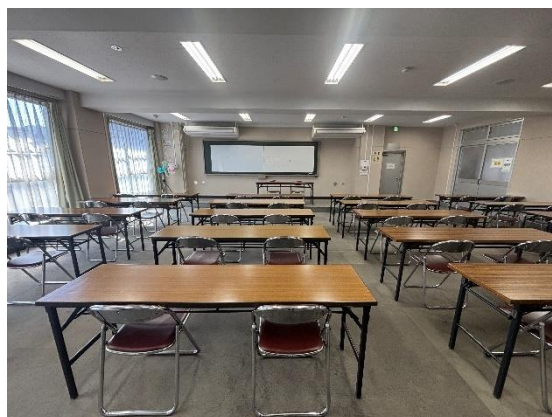
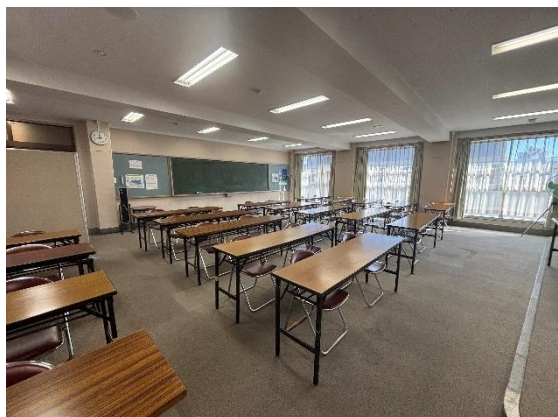
○ボランティア・市民活動・会議等に利用されています。

■NPOルームサロン



○ボランティア・市民活動の準備・打合せ等に利用されています。

■第4 ボランティア・NPOルーム



○ボランティア・市民活動・会議・講座等に利用されています。

■第5 ボランティア・NPOルーム



○第4 ボランティア・NPOルーム内にあり、同ルームと一体的な控室利用や、仕切られた空間を活かしたボランティア・市民活動・会議等に利用されています。

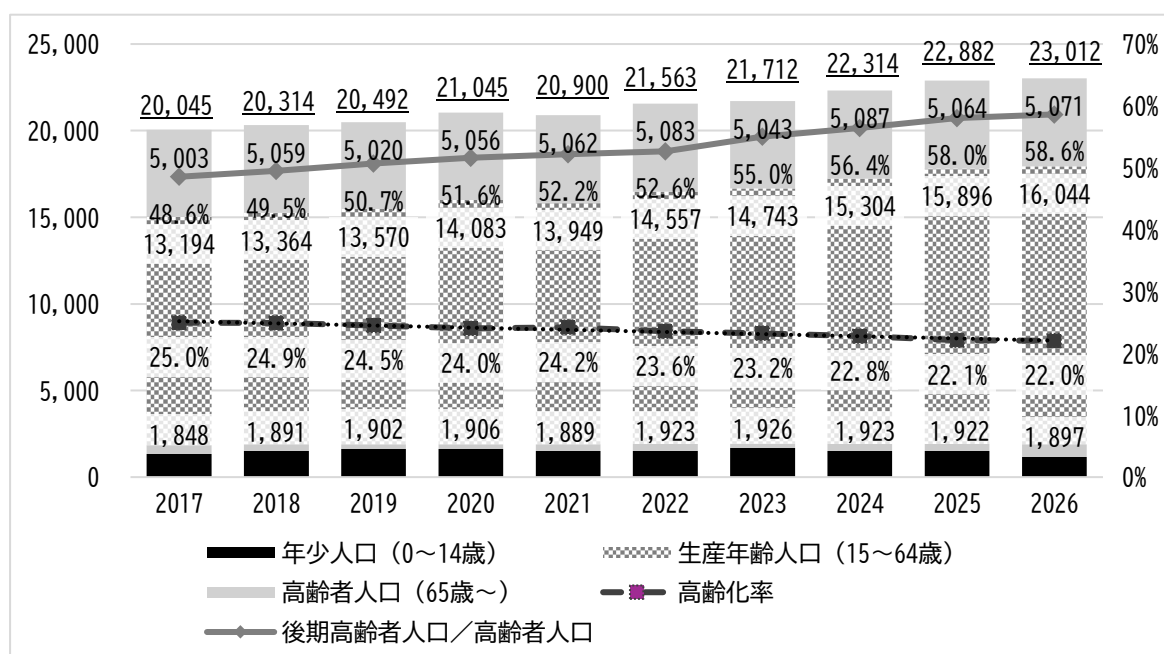
2 旧板四中跡地周辺の状況

(1) 富士見地区の人口推移

■人口構成の推移（年少人口、生産年齢人口、高齢者人口）

- 富士見地区の総人口は、この10年で約3,000人増加しています。
- 生産年齢人口・高齢者人口は増加傾向です。一方で、年少人口は2023年をピークに減少傾向にあります。
- 高齢化率は、この10年間で3%減少していますが、後期高齢化率は約10%増加しています。

【図4】富士見地区人口構成の推移



※1/1 現在の比較

3 問題点及び課題の整理

(1) 各施設の利用状況及び課題

■旧板四中跡地

①フレンドセンター・フレンドセンター体育館（旧体育館2階）

利用実績等		令和4年度	令和5年度	令和6年度
	区内 不登校者数	1,064人	1,344人	1,180人
	フレンド 通級登録者数	182人	246人	185人
現状・課題	○全国的に不登校者数が増加傾向にある中で、区でも様々な要因から学校で学ぶことに困難を抱えている児童・生徒が増えています。 ○区立学校ではこれまで、児童・生徒の困りごとに寄り添い、家庭や教室以外に安心して過ごすことのできる居場所作りを推進してきました。一方、学校外の居場所として、平成29(2017)年度より「もっと通いたくなるフレンドセンター」とするべく運営方法を見直し改革を進めています。 ○「安心して過ごせる居場所」を継続的に提供するため、令和7(2025)年度以降、フレンドセンターにおける取組の拡充を図り、誰一人取り残さない学びの保障に向けて、支援を充実させていく必要があります。 ○不登校や不登校傾向にある児童・生徒が利用することを踏まえ、安心して通うことができるように、敷地内のゾーニングや動線などに配慮が必要です。 ○フレンドセンター校庭・体育館は、フレンドセンター利用者による運動利用が主な利用手段となっています。一方、活用されていない時間帯等もあることから、有効的な活用方法が求められています。 ○また、フレンドセンター体育館は下の階（富士見地域センター）へ音や振動が伝わりやすく、防音・防振性が課題です。			

②南部土木サービスセンター

利用実績等	令和3(2021)年度に土木事務所と公園事務所を統合し、土木サービスセンターへと組織改正しました。管理職以下35名が勤務しており、常時の維持管理を行うと共に、災害時（台風や降雪時）の活動拠点となっています。
現状・課題	○環状8号線を境目に南北2か所のサービスセンターがあります。南部は旧板四中校舎に暫定的に配置しており、また北部は荒川氾濫時に浸水が懸念される場所にあるため、災害時にも適切に対応できる場所・配置を検討する必要があります。

	○ 校舎の老朽化により不具合が発生（雨漏り、トイレつまり等）しており、執務室内の快適性にも室温調整などの面で課題があります。 ○ 道路・公園の修繕等に使用する資材を切断等加工する際、切断音や粉じん等が発生し、フレンドセンターの利用者や近隣に迷惑が掛からないよう、時間や場所を考慮して作業しています。
--	--

③富士見地域センター

利用実績等		令和4年度	令和5年度	令和6年度
	レクホール	78.3%	78.3%	79.5%
	第一和室	43.9%	51.0%	57.4%
	第一洋室	65.7%	69.7%	71.7%
現状・課題	○ 「新たな地域センターのめざす方向性」（令和2（2020）年1月）として、地域活動に関わる区民の増加と地域の会議体等のネットワーク化による地域課題の解決及び施設利用者層の拡大をめざしています。 ○ レクリエーションホールや洋室・和室など、より利用しやすい環境整備が求められています。			

④文書倉庫

現状・課題	○ <u>今後の保管量見込みについて</u> 既存文書や収受文書の電子への原本変換や電子起案の拡大によりペーパーレス化を促進していく予定ですが、法令により紙保存が義務付けられた文書や契約、財務会計に関する書類は現時点では電子化が困難であるため、今後も紙文書を一定量保管していく必要があります。 ○ <u>フレンドセンター以外の文書保存庫について</u> 本庁舎以外に文書係が管理する文書保存庫は、フレンドセンターのほか、旧桜川いこいの家がありますが、いずれも空き容量がひっ迫しており、施設も築50年を超えています。また、各所属で管理している倉庫等にも文書を保存しています。
-------	---

⑤旧板四中記念室

施設規模等	○ 富士見地域センターの一部を、旧板四中記念室として位置づけています（30㎡・一部スペースを保管庫と兼用）。
現状・課題	○ 旧板四中の記念品が展示されており、希望者は見学可能です。年間10名程度の来場者がいます。

	○ 地域や卒業生などの思い出が、未来へ継承できるような整理が必要です
--	------------------------------------

⑥避難所等防災機能

施設規模等	○ 旧板四中は地域防災計画において区施設避難所として位置づけられており、施設機能が維持され安全が確保される間は、暫定的に避難所として活用することとしています。 ○ 避難所としての利用想定は以下のとおりです。 【旧体育館】 ➤ フレンドセンター体育館 ◇ 体育館（一次避難スペース） ◇ 体育館ステージ脇（更衣室・授乳スペース） ➤ 防災備蓄倉庫（富士見地域センター1階南門側） 【旧校舎】 ➤ フレンドセンター1階 ◇ 第一面接室（要配慮者避難スペース） ◇ プレイルーム（風邪等の症状のある方の避難スペース） ➤ フレンドセンター2階 ◇ フューチャールーム（避難所運営職員の休憩室） ○ その他以下の部屋を避難スペースとして利用可能です。 ➤ フレンドセンター2階 ◇ スタディールーム、プライベートルーム、メインルーム、図書室 ➤ フレンドセンター3階 ◇ ひみつきち ➤ フレンドセンター4階 ◇ ランチルーム
現状・課題	○ 地域防災計画において、指定避難所は原則として、町会・自治会又は学区を単位として指定することとしています。 ○ 富士見地区の避難所は、旧板四中（フレンドセンター）と環状七号線の反対側に位置する板橋第八小学校の2か所のみであり、機能存続が課題です。 ○ 避難所として指定されている2階の体育館には空調機・昇降機が無く、また老朽化も進行していることについて、地域から課題の早期解決の要望を受けています。 ○ 環状七号線に隣接している立地を活かし、物資の運搬・備蓄が可能な道路接道や備蓄倉庫を整備することが望ましいです。

■周辺・関連公共施設

①大原生涯学習センター

利用実績等			
	年度	利用者数	(うち i-youth 利用)
	平成 28 年度	90,442 人	4,570 人
	平成 29 年度	101,827 人	17,165 人
	平成 30 年度	96,605 人	18,805 人
	令和元年度	88,361 人	17,839 人
	令和 2 年度	39,611 人	8,381 人
	令和 3 年度	51,657 人	12,037 人
	令和 4 年度	62,384 人	13,603 人
	令和 5 年度	64,679 人	13,963 人
	令和 6 年度	64,226 人	15,966 人
現状・課題	○ 社会教育の実現を担う、安定した社会教育主事の任用と育成体制、活動場所である生涯学習センターの老朽化への対応が重要な課題です。 ○ 令和 6 (2024) 年 2 月に生涯学習センターのあり方検討結果をとりまとめ、今後の展開として「若者支援の方向性(若者支援機能の強化)」「生涯学習課所管施設との相乗効果による機能強化」「民間活力の導入によるサービス向上」という 3 点の機能強化を掲げています。 ○ i-youth について、平日は午後・夜間の時間帯に開館しており、土曜・日曜の利用も多いため、他の施設との一部共用等、利用ニーズに応えるための工夫が必要です。 ○ 音楽やダンスの練習場所を設ける際は、気兼ねなく練習できるように適切なゾーニングや防音などの配慮が必要です。 ○ 若者が調理を楽しみ、食事をしながら語らう場所としてカフェコーナーの継続も必要です。 ○ 現状の施設では利用者の「運動したい」という要望に十分応えられないため、ニーズに応えるための機能についても検討が必要です。 ○ 学習スペースを設ける際は、学習に集中できる環境(防音や他の機能との切り分け、個別スペースの確保等)を整備することが必要です。 ○ Wi-Fi 環境について、既存施設では部分的にしか繋がらず、若者を含む利用者から改善要望があるため、施設内の広いエリアで繋がるよう計画する必要があります。		

	○ 陶芸を行うスペースを設ける際は、作陶スペース、備品保管場所、窯等を屋内とし、隣接する等、活動動線に配慮が必要です。 ○ 絵画や陶芸、染色等を行うスペースを設ける際は、水場の設置等に配慮が必要です。 ○ 利用団体の活動の活性化及び交流を促進するためには、団体同士の交流や職員とのコミュニケーションが図れるスペースを確保する工夫が必要です。
--	--

① 富士見台児童館

利用実績等		令和4年度	令和5年度	令和6年度
	未就学児	9,998人	12,576人	9,939人
	保護者	7,849人	9,747人	7,960人
	小学生	380人	665人	552人
	中学生	12人	24人	27人
現状・課題	○ 児童館の適正配置について 平成27(2015)年5月に作成した「児童館あり方検討報告書」において、「18地区を基本に配置する」とし、富士見地区の板橋児童館を廃止する一方で、前野地区にある富士見台児童館を全体の配置バランス等を考慮して、富士見地区の児童館に位置付けています。その後、18地区への基本配置の観点から、旧板四中跡地全体の有効活用と併せ、移転も視野に、周辺施設の集約・複合化による富士見児童館設置の検討を進めています。 ○いたばし子ども・若者・子育て応援プラン 2030 令和8(2026)年1月に策定した「いたばし子ども・若者・子育て応援プラン 2030」では、「児童館の機能の充実」として以下の視点で整理されています。 <u>気軽に相談・つなぐ力UP</u> これまで同様、主な対象を乳幼児親子とし、身近な地域で遊びや交流のついでに、気軽に相談できる児童館として、国の制度である「地域子育て相談機関」に位置付け、人材の育成及びDXの活用等によって、こども家庭センター機能との連携強化を図ります。 18地区に1か所を基本としつつ、複数館ある志村坂上・中台・下赤塚・成増・高島平地区は、人口や地理的条件・行動範囲・乳幼児親子の利用者数などを考慮して2館ずつとし、計23館とします。なお、現在、配置されていない富士見地区には、旧板四中跡地の活用と併せ、富士見台児童館を移転します。			

	<u>子育て応援・魅力 UP</u> 児童館 26 館のうち、地域子育て相談機関に位置付ける 23 館を除いた 3 館、及び高島平地域のまちづくりや旧板四中等の活用において、中高生や保護者まで惹きつける活動・交流の場、自主性をはぐくむ自由な居場所、さらには地域コミュニティ施設との複合化等による多世代交流機能の付加も視野に入れた民間活力による新たな児童館を検討します。 ○ おむつ交換台や授乳室が個室内に整備されていないため、プライバシーに配慮した空間が必要です。 ○ 児童館は 2 階にありますが、エレベーターがないためベビーカー等での移動が困難です。そのため、ユニバーサルデザインに配慮したハード整備が求められています。
--	--

② いたばし総合ボランティアセンター

利用実績等

○ ボランティア・NPO登録団体は、無料で各室を利用可能。
【各室利用実績】

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
第1ルーム	利用率	63.7%	66.9%	59.0%
	利用人数	8,011人	7,763人	8,259人
第2ルーム	利用率	65.3%	70.3%	55.3%
	利用人数	5,261人	6,692人	5,885人
第3ルーム	利用率	60.1%	66.5%	57.6%
	利用人数	3,707人	3,861人	3,942人
第4ルーム	利用率	69.1%	71.3%	58.9%
	利用人数	9,519人	9,693人	9,311人
第5ルーム	利用率	27.2%	33.3%	23.2%
	利用人数	2,898人	4,112人	4,006人

※第5ルームは、第1～第4ルームの日中利用が多く飽和状態であったため、第4ルームを二つに分けて、令和4（2022）年度途中に新設。

【その他実績】

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
交流広場	貸出団体数	58団体	53団体	374団体
	利用人数	8,364人	8,492人	8,481人
NPO	団体数	1,995団体	－	－

	サロン	利用 人数	4,375 人	3,561 人	4,006 人
現状・課題	○ 「いたばし総合ボランティアセンター運営ビジョン 2030」を令和5（2023）年12月に策定し、課題は以下のとおりです。 ➤ ビジョンに掲げる将来像を実現するための方策の一つとして、「活動拠点の充実」を掲げています。 ➤ 施設や設備の老朽化が激しく（雨漏り、机や椅子のガタつき等）、セキュリティも含め施設管理業務が負担となっています。 ➤ 日中利用が多く、貸室が飽和状態となる時があります。 ➤ 小豆沢体育館の災害ボランティア本部以外にも、災害ボランティアのサブ拠点としての空間の確保（物資の備蓄やボランティアの滞在スペース等）が課題となっています。				

③ 体育施設

配置状況等	○ 区内のスポーツ施設の配置状況は以下のとおりです。 ➤ 屋内体育施設：5箇所（小豆沢・加賀・赤塚・上板橋・高島平） ➤ 野球場：6箇所（小豆沢・城北・荒川河川敷・徳丸ヶ原・東板橋・赤塚） ➤ サッカー場：3箇所（荒川河川敷・高島平・浮間舟渡※） ※フットサルのみ ➤ 陸上競技場：2箇所（新河岸・荒川河川敷） ➤ 庭球場：5箇所（小豆沢・加賀・東板橋・徳丸ヶ原・新河岸） ➤ 和洋弓場：各1箇所（小豆沢・東坂下）																		
利用実績等	○ サッカー等で利用可能な施設の利用者数 （グラウンドゴルフ等他競技含） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>荒川戸田橋</td><td>35,716 人</td><td>33,200 人</td><td>38,318 人</td></tr> <tr> <td>高島平多目的</td><td>25,971 人</td><td>21,482 人</td><td>22,472 人</td></tr> <tr> <td>浮間舟渡 (フットサルのみ)</td><td>9,817 人</td><td>5,977 人</td><td>9,342 人</td></tr> </tbody> </table>				令和4年度	令和5年度	令和6年度	荒川戸田橋	35,716 人	33,200 人	38,318 人	高島平多目的	25,971 人	21,482 人	22,472 人	浮間舟渡 (フットサルのみ)	9,817 人	5,977 人	9,342 人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
荒川戸田橋	35,716 人	33,200 人	38,318 人																
高島平多目的	25,971 人	21,482 人	22,472 人																
浮間舟渡 (フットサルのみ)	9,817 人	5,977 人	9,342 人																
現状・課題	○ 板橋区ラグビー協会・板橋区サッカー協会からそれぞれ公式戦を実施できる人工芝のグラウンドを設置してほしい旨の要望を受けています。 ○ 現在、サッカーで利用できる施設は3か所ありますが、競技人口に対して施設数が少ない状況です。																		

	○ 現状、ラグビーの競技仕様に適したグラウンドがないため、地域の小学校や高島平多目的運動場を利用して事業を実施しています。 ○ かわまちづくりの一環として、荒川戸田橋陸上競技場をラグビー利用も可能な施設として再整備する計画がありますが、現在利用している他競技（サッカー、陸上など）とのニーズ重複や、再整備予定地が荒川河川敷内であることから人工芝の使用が困難である等の課題があります。
--	---

④ 公園・児童遊園

配置状況等	現在、富士見地区には都市公園 9 か所、準公園 1 か所が設置されています。
現状・課題	○ 富士見地区を含む「板橋・大山エリア」では、公園面積、緑被率が区内で最も小さいことから、商店街や住宅地、公共空間などの街並みと調和した身近なみどりやオープンスペースの整備が必要です。

⑤ 防災関連施設

配置状況等	○ 国や都、他自治体等から輸送される支援物資等を集約する「地域内輸送拠点」として、以下の 3 施設を位置づけています。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設</th><th>住所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害時配送ステーション ※MFLP・LOGIFRONT 東京板橋 2 階</td><td>舟渡 4-3-1</td></tr> <tr> <td>区立小豆沢体育館</td><td>小豆沢 3-1-1</td></tr> <tr> <td>区立上板橋体育館</td><td>桜川 1-3-1</td></tr> </tbody> </table> ○ 区内で大規模災害が発生した際、区と区社会福祉協議会が締結した「災害時におけるボランティア支援活動等に関する協定書」に基づき、区と区社会福祉協議会等が連携し、「いたばし災害ボランティアセンター」を小豆沢体育館へ設置します。	施設	住所	災害時配送ステーション ※MFLP・LOGIFRONT 東京板橋 2 階	舟渡 4-3-1	区立小豆沢体育館	小豆沢 3-1-1	区立上板橋体育館	桜川 1-3-1
施設	住所								
災害時配送ステーション ※MFLP・LOGIFRONT 東京板橋 2 階	舟渡 4-3-1								
区立小豆沢体育館	小豆沢 3-1-1								
区立上板橋体育館	桜川 1-3-1								
現状・課題	○ 災害時配送ステーションは、国や都からの支援物資等を集約する機能としての活用を想定していますが、荒川氾濫時の浸水区域に該当するため、水害時には地域内輸送拠点として有効活用しづらい課題があります。 ○ また小豆沢体育館は、他自治体、災害時協定自治体・事業者からの支援物資等を集約する機能としての活用を想定していますが、トラックバスやフォークリフトなどがないため大量の物資を荷捌きすることが難しい等、運営面に課題があります。 ○ 発災時には、いたばし災害ボランティアセンターは小豆沢体育館へ設置しますが、板橋区災害対策本部（区役所本庁舎）や区社会福祉協議会と物理的な距離があるため、容易に連携できるような仕組みが求められています。								

(2) 跡地活用にかかる検討課題

(1) の各施設の利用状況及び課題を踏まえ、跡地施設整備計画で検討すべき重要課題を以下のとおり整理します。

■空間・整備機能の最適化

- 多目的スポーツ広場や生涯学習センター、地域センター、フレンドセンターなどの様々な機能について、親和性の高い機能は近接し連携や相乗効果を図る一方、施設の活用エリアや導線に配慮が必要な機能は適切に分離を図るなど、異なる機能の適切な配置を検討する必要があります。
- 児童館・生涯学習センターのあり方を踏まえ、子ども・若者の創造性をはぐくむ居場所・活動支援機能の充実と、地域センターにおける地域コミュニティ活性化に資する多世代交流拠点機能との複合化によってめざすべき相乗効果を検討していく必要があります。

■運営の時間的柔軟性

- 多種多様な機能を複合化するため、例えば平日と休日、日中と夜間など、曜日や利用時間帯によって変化するニーズへ柔軟に対応し、空間を効率的に活用する運営計画の検討を行う必要があります。
- 多目的スポーツ広場や体育館スペースなど、同一空間のゾーン分けを含め、多目的な利用を可能にする運営方法を検討していく必要があります。

■防災機能の両立

- 旧板四中は避難所に指定されており、発災時は近隣住民が避難生活を送る場所となります。また、敷地内に防災倉庫や板橋消防団第四分団倉庫があることから、地域の防災拠点としての引き続きの活用が望まれています。そのため、平時利用と災害時の防災拠点としての機能の両立を検討する必要があります。
- 旧板四中跡地に接している環状七号線は、震災時に避難や救急・消火活動、緊急物資輸送の大動脈となる「特定緊急輸送道路」に指定されています。そのため、災害時の運用など、区の防災力強化にかかる課題解決を図るため、有効活用していく必要があります。

■地域資源の保存

- 敷地内に植えられた「カンザクラ」は、旧板四中閉校を機に植樹され、地域の宝として大切にされています。そのため、桜の小径など、地域に愛されている景観要素の保存へ配慮していく必要があります。
- 旧板四中グラウンド部分で毎年10月に開催する「富士見まつり」や3月に開催する「さくらの小径まつり」など、地域に根差した行事が継続できるよう、ハード・ソフト両面で空間整備を検討していくことが重要です。

第3章 施設整備構想

1 基本方針・基本理念

(1) 基本方針・基本理念の考え方

- 令和7（2025）年10月に区議会で議決された「板橋区基本構想」は、令和8（2026）年度から概ね10年後の区の将来像として「未来をひらく 緑と文化のかがやくまち”板橋”」を定めています。また将来像を実現された街の姿として「誰もが幸せを実感している」「つながりと愛着がはぐくまれている」という2つの具体的なまちの姿を掲げています。
- この基本構想を実現するためには、区の重要な資産である学校跡地を戦略的に活用し、将来像を具現化する拠点として整備することが不可欠です。そのため、施設整備構想では、区の最上位計画である基本構想と連携・整合を図ることで、区全体の持続的な発展と地域の特性を活かした施設づくりを両立していきます。
- 特に、基本構想に示された3つの基本理念「ひと（個人）」の視点「あたたかいところで ともに歩む」、「まち（地域）」の視点「笑顔あふれるまちを みんなでつくる」、「みらい（環境）」の視点「ゆたかな環境を 未来へつなぐ」は、本施設整備においても中核となる価値観として継承します。
- 活用方針で整理した「若者・地域交流拠点」「多目的スポーツ広場」「多様な学びの場」「防災力の強化」という4つの視点は、基本構想の3つの理念を具体化するものであり、これらを統合することで、区の将来像実現に直接貢献する施設をめざします。
- また、本施設は、単なる公共サービスの提供場所ではなく、区がめざす「創造都市（クリエイティブシティ）」※の考え方を体現する先導的モデルとして、多様な人々の創造性をはぐくみ、新たな価値を生み出す居場所づくりを推進することにより、区の未来をデザインする重要な拠点となることをめざします。

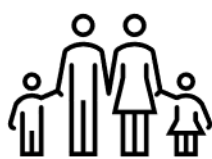
(2) 基本方針

持続可能な地域のつながりと愛着をはぐくむ

ひと と まち を つなぐ みらい創造・交流拠点

(3) 基本理念

「ひと（個人）」



居場所空間の創出

子ども・若者・子育て世代が背景を問わず集い、自分らしく過ごせる居場所空間の創出

➤ 想定機能：フレンドセンター（体育館含む）、CAP'S富士見台児童館、大原生涯学習センター(i-youth含む)

※ 区民一人ひとりのアイデアや工夫を原動力に、地域に新しい価値やあたたかなつながりを創り出すまちのあり方。

「まち（地域）」

共創空間の構築



「創造」を核として地域・多世代の交流を促進し、誰もがともに学び・教えあう共創空間の構築

- 想定機能：富士見地域センター、大原生涯学習センター(i-youth含む)、ボランティアセンター、多目的スポーツ広場

「みらい（環境）」

災害拠点の整備



区民の生命・財産を守るため、災害時を想定してすべての人が安心・安全を実感できる災害拠点の整備

- 想定機能：南部土木サービスセンター、ボランティアセンター、防災倉庫、避難所

第4章 施設整備計画の検討状況

施設整備構想で定めた基本方針・基本理念を具体化するため、以下の視点における検討事項を踏まえた施設整備計画を推進します。

1 建物構造・機能

(1) 検討事項

- 地域に親しまれている桜の小径の保存や、「富士見さくらの小径まつり」などの地域行事が継続できるよう、しつらえやゾーニング案を検討する必要があります。
- フレンドセンター機能の出入り口や施設配置など、プライバシーに配慮された空間整備を検討する必要があります。
 - 地域に愛されている桜の小径の保存を前提とし、より地域に親しめる空間整備に向けた検討を進めていきます。
 - 「活用方針」で示したイメージにとらわれず、建物上部への多目的スポーツ広場の整備なども視野に検討をしていきます。
- 旧板四中跡地は、環状七号線に接する好立地です。この強みを活かし、地域の防災力はもとより、区全体の防災力強化を図る機能充実を検討していきます。
- 児童館・i-youthのあり方検討の結果を踏まえ、子ども・若者及び多世代交流を推進する拠点機能を検討していく必要があります。
 - 乳幼児親子向けCAP'S・中高生向け新たな児童館とi-youth機能の融合及び地域センターによるつながりの居場所を含めた、施設のめざす姿と機能の具体化に必要となる空間・設備などを検討していく必要があります。

(2) 集約・複合化のメリット

①利用面

■多世代交流

単一機能では利用者世代が限られますが、複合施設ではエントランス等の共有スペースで子どもから高齢者まで自然に集う可能性が高まります。

■ワンストップ・サービスの実現

「子どもを遊ばせる」「サークル活動をする」といった複数の用事を1箇所で済ませることが出来ます。

■居心地のよい空間の提供

カフェや一部フリースペースを併設することで、用事がなくても長時間滞在できる「居場所」として機能します。

②整備・運用面

■コストの縮減（建設・維持管理）

共用部（エントランス、廊下、トイレ、駐車場、給湯室など）を共有化することで、別々に建てるよりも延べ床面積を圧縮でき、建設コストや光熱費削減が期待できます。

■スペースの有効活用

利用者のピークが異なる機能・居室を最適に組み合わせることで、スペースの有効活用を図ることが出来ます。

2 運営方針

- 各施設における多様な機能が融合し、相互連携が促進される空間など、複合施設のメリットを最大限活かすため、最適な運営計画や推進体制を検討していきます。
- 生涯学習センターや地域センター、いたばし総合ボランティアセンターなど、施設利用者の団体登録の要件等を改めて整理し、適切な運営・料金体系を設定していきます。
- フレンドセンター利用者など、多くの利用者に配慮するため、多目的スポーツ広場などは曜日・時間帯に応じて開放時間を切り替えることができるよう検討を進めていきます。

3 ゾーニング・動線の考え方

- 環状七号線に接する立地を活かし、効果的な動線の考え方を整理していきます。

4 外構計画

「3 ゾーニング・動線の考え方」を踏まえ、素案でお示ししていきます。

5 その他整理すべき検討課題

(1) 各施設の法令・運用制度整理

各施設は、関連法令や運用制度等による様々な制約があります。複合・集約化するにあたり、効率的・効果的な施設・管理運営の実現に向けて、法令・運用制度を整理する必要があります。

(2) 既存機能の仮移転・本移転先の検討

既存施設の機能が切れ目なく運営を継続できるよう、適切な仮設計画や移転計画を推進していきます。

機能	仮移転の方向性
フレンドセンター	検討中
富士見地域センター	
文書倉庫	
南部土木サービスセンター	
旧板四中記念室	

6 整備・配慮すべき事項

(1) ユニバーサルデザイン

子どもから高齢者まで、多世代が利用する施設であるため、誰もが使いやすいユニバーサルデザインに配慮した施設整備を推進します。

(2) 環境配慮・省エネルギー

「板橋区建築物等における省エネルギー・環境配慮に関する指針」に従い、環境負荷低減の施設整備を検討します。

(3) 防災面の考え方

現在、旧板四中の校舎・体育館は、避難所に指定されています。そのため、以下の事項に配慮しながら、体育館の活用手法を検討していきます。

- ① 体育館を改修する場合
空調設備改修・エレベーターの増設によるバリアフリー動線の確保等を検討していきます。
- ② 体育館を改築する場合
避難場所機能が継続できる建て替え工程を検討していきます。

第5章 事業手法・今後のスケジュールなど

1 事業手法

建物構造・機能や施設配置案、管理運営計画を踏まえ、民間活力導入の可否を検討していきます。

2 想定事業費

建物構造・機能や施設配置案、既存機能に関する仮移転計画を踏まえ、設計・工費費用を算出していきます。

3 事業・工事スケジュール

施設整備計画においては、建物構造・機能や施設配置案、事業手法を踏まえ、最適な設計・工事スケジュールを設定していきます。

令和7年度	令和8年度	令和9年度～
整備構想・計画		設計・工事

4 跡地活用計画

- 大原生涯学習センター及びCAP' S富士見台児童館は、旧板四中跡地へ機能移転するため、施設整備完了後の跡地活用を検討する必要があります。
- 跡地活用にあたっては、地域課題・行政需要を的確に捉えた上で、活用方針を策定する必要があります。そのため、旧板四中整備完了スケジュールに連動する大原生涯学習センター及びCAP' S富士見台児童館の移転時期を考慮し、跡地活用計画の検討を深度化していきます。

第6章 住民・施設利用者意見まとめ

1 住民説明会の概要

(1) 令和7（2025）年5月実施

■説明会の概要

	5/23(金) 19:00～20:00 富士見地域センター	5/24(土) 10:00～11:00 富士見地域センター	計
参加者	55 人	25 人	80 人

■主な意見

若者・地域交流拠点
○ 若者や高齢者も含めた多世代交流の場としての機能を整備してほしい。 ○ 若者や利用者の声をよく聞いたうえで、施設機能などの検討を進めてほしい。
多目的スポーツ広場
○ 多目的広場は、多様な活用ができるよう人工芝で整備してほしい。 ○ サッカー公式大会の利用が可能となる広さの整備をしてほしい。 ○ 土日にグラウンドを利用している少年野球チームの活動が継続できるよう配慮してほしい。
多様な学びの場
○ フレンドセンター機能と他施設との共存が可能となる整備をしてほしい。 ○ グラウンド部分について、フレンドセンター利用者と地域利用との共存が可能な管理体制を検討してほしい。
防災力の強化
○ 避難所としての環境改善及び給水ステーション設置等を検討してほしい。 ○ 体育館部分の避難所機能の継続や、多目的スポーツ広場と避難所機能の共存可能な整備をしてほしい。
その他
○ 桜の小径の保存及び地域行事が継続できるよう整備してほしい。 ○ 旧板三小跡地・大原生涯学習センター・CAP' S 富士見台児童館移転後の跡地活用方針を示してほしい。

(2) 令和7（2025）年11月実施

■説明会の概要

	11/28(金) 19:00～20:00 富士見地域センター	11/30(土) 14:00～15:30 大原生涯学習センター	計
参加者	28人	45人	73人

■主な意見

若者・地域交流拠点
○ 地域に住む外国人が、気軽にくらしの相談ができる機能を設けてほしい。
多目的スポーツ広場
○ 富士見地区には運動できる広場スペースが少ない。地域住民の運動量を補うことができる活用を望む。
○ 近隣の板八小の児童は、ボール遊びができるスペースを望んでいると聞いた。
○ 人工芝の管理や地域行事が継続できる配慮を求める。
多様な学びの場
○ フレンドセンター機能と他施設との共存が可能か疑問である。
その他
○ 環七からの騒音や、日影の影響に配慮してほしい。
○ 解体工事中のグラウンド部分の機能継続を希望する。
○ 校舎を解体する際には、卒業生などを招いたイベントを開催してほしい。
○ 桜の小径への影響を最小限にするよう配慮してほしい。
○ 旧板四中施設整備が完了するまでの間、可能な限り休館などが発生しないよう、切れ目のない移転を望む。
○ スペース・機能の縮小などを起因として、団体利用が困難にならないよう配慮してほしい。
○ 大原生涯学習センターの跡地活用方針が決定する前に、近隣住民の意見をよく聞いてほしい。
○ ボランティアセンター利用者の意見を聞く機会を設けてほしい。

2 施設利用者アンケート

(1) アンケートの概要

【図 5】施設利用者アンケートチラシ

跡地活用を一緒に考えるため
みなさまの声を聞かせてください

全10問

回答時間
約
3
min

旧板橋第四中学校・旧板橋第三小学校
施設整備に関する施設利用者アンケート

板橋区では、旧板橋第四中学校跡地及び旧板橋第三
小学校の跡地を活用した検討を進めています。
検討に際し、下記の公共施設を複合化する計画を
考えています。よりよい施設となるよう、普段から
施設を利用している方へアンケートを実施します。

▼対象者
富士見地域センター、まなぼーと大原(i-youth含む)、富士見台児童館、
いたばし総合ボランティアセンター等を利用している方

▼回答方法
スマートフォン等で二次元コードを読み取り、回答をお願いします。
※紙アンケートが必要な方は、施設管理者へお問い合わせください。
※1端末につき1回・1人1回の回答にご協力をお願いします。
※回答いただいた内容は個人情報の取り扱いに十分配慮し、今回の調査目的以外に
は使用しません。

▼問い合わせ先
板橋区政策企画課区有地活用担当係 03-3579-2013

アンケート期間
11月13日(木)
▼
12月12日(金)

回答用二次元コード



※下記URLからも
ご回答いただけます。
<https://forms.office.com/r/7WpD5bswhq>

板橋区
ITABASHI

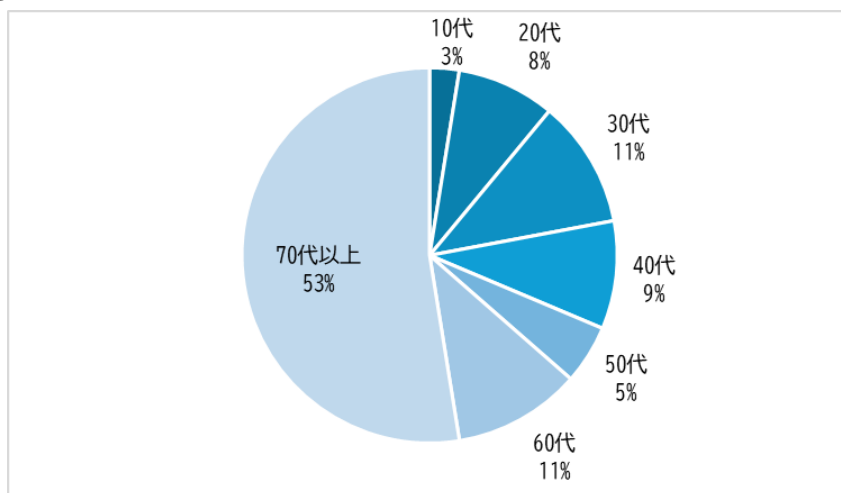
項目	内容
タイトル	旧板四中・旧板三小施設整備に関する施設利用者アンケート
対象	富士見地域センター、大原生涯学習センター、富士見台児童館、いたばし総合ボランティアセンター、本町集会所を利用している方
配付・回収方法	ポスター掲示・チラシ配付による WEB 回答及び書面回答
調査期間	令和7年11月13日(木)～12月12日(金)
回答数	118 件
調査票構成	1 利用について ☐ よく利用する施設を下記より選択してください。 ☐ この施設をどのくらい利用しますか？ ☐ 主な利用目的は何ですか？

項目	内容
	2 施設への評価 ○ この施設の良いところを教えてください。（自由記述） ○ 改善してほしい点がありますか？（自由記述） 3 今後に向けて ○ 旧板四中跡地の施設に整備してほしい施設や機能はありますか？（自由記述） ○ 旧板三小跡地の施設に整備してほしい施設や機能はありますか？（自由記述） ○ 上記学校跡地周辺の地域で課題だと思うこと、または良いところを教えてください。（自由記述） 4 回答者について ○ 年代・属性

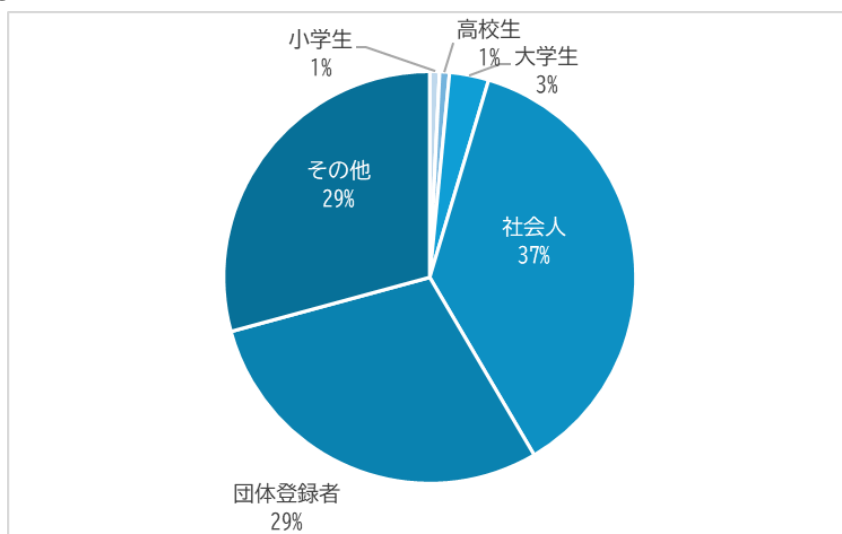
（２）アンケート結果分析

■回答者の属性

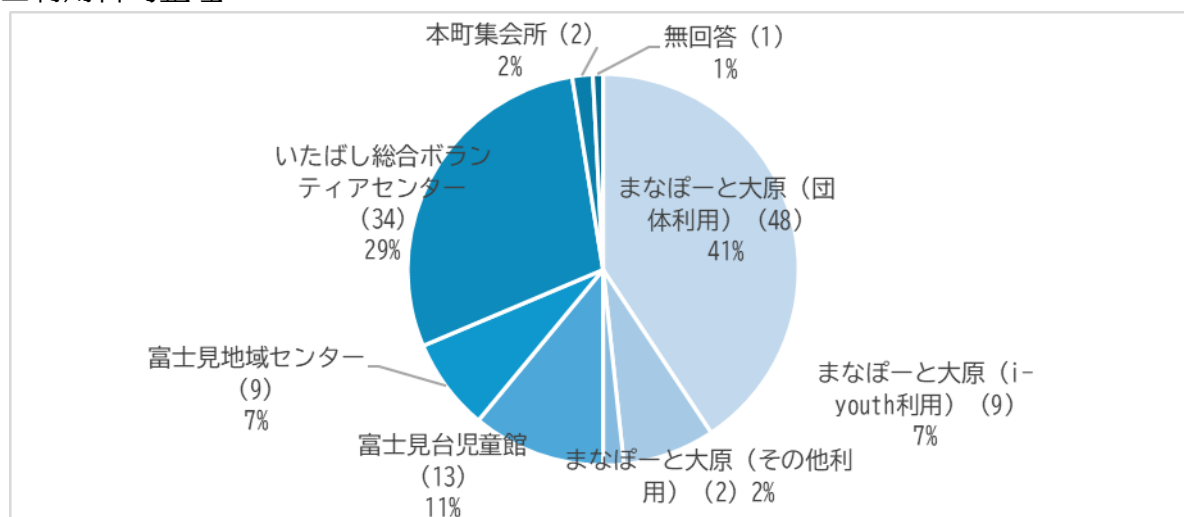
①年代



②職業など



■利用目的整理



(3) 自由記述欄意見整理 (旧板四中関連の回答のみ抜粋)

○ この施設の良いところを教えてください。(自由記述)

利用施設属性	意見の概要
富士見台児童館	○ 先生・職員が親身で優しく、子どもたちが懐きやすい。 ○ 幅広い年齢層に対応し、交流の場を提供してくれる。 ○ 毎日・季節ごとのイベントが充実し、子育て世代が助かっている。 ○ 室内遊具が多く、雨天や暑寒の日でも安全に広く遊ばせられる。 ○ 乳幼児専用スペースがあり、安心して遊ばせられる。
大原生涯学習センター (i-youth 利用)	○ スタッフが親しみやすく、フレンドリーで利用しやすい。 ○ 音楽活動や卓球、ピアノなど多様な趣味・文化活動が可能。 ○ 大きな鏡と広い練習場所がありダンス向き。 ○ 静かな環境で落ち着く。 ○ 駅近でアクセス良好。
大原生涯学習センター大原 (団体利用)	○ 利用料金が手頃。 ○ 施設利用者本位の運営がされている。 ○ お掃除が行き届いており清潔。 ○ 駅やバス停が近く利便性が高い。 ○ スタッフが礼儀正しく親切。 ○ 趣味や文化活動の拠点として充実している。 ○ 部屋が確保されていて、使いやすく、ロッカーや荷物置き場も充実している。 ○ 古い建物の趣があり、歴史的価値が感じられる。

利用施設属性	意見の概要
いたばし総合ボランティアセンター	○ 利用料金がかからず、複数の部屋・備品が利用できる点が大きな魅力。 ○ 駐輪場やコピー機など、設備が整っている。 ○ 学習支援や多文化交流の拠点としても機能している。 ○ 無料の学習塾など、多様な支援活動が行われている。 ○ 受付の方が親切で相談しやすい。 ○ 会場や施設の利便性が高く、静かで落ち着いた環境。
富士見地域センター	○ 広い洋室やレクリエーションホールがあり、会合や地域活動に適している。 ○ 掃除が行き届いていて清潔。 ○ 職員の対応が親切。 ○ 気軽に使える雰囲気。

○ 改善してほしい点がありますか？（自由記述）

利用施設属性	意見の概要
富士見台児童館	○ 利用者層の違いによる治安・マナーが悪化している（特に休日や土日）。ルール違反や、騒音の改善を希望する。 ○ 児童館が一階だと、利用しやすい。 ○ 乳幼児専用スペースの確保、小学生以上も遊べる場所の設置など、施設の拡充を希望する。 ○ 芝生広場の整備、授乳室、乳幼児グッズの販売コーナーなど、設備面の充実を求める。
まなぼーと大原（i-youth 利用）	○ 卓球利用者に対する利用者マナーの改善をお願いしたい。 ○ 建物の天井が低いことにより、圧迫感がある。 ○ 物販の再開や、バレーボールなど体育館利用の自由化を希望する。 ○ 音響機器や電子機器を更新してほしい。 ○ Wi-Fi 環境の向上や、空調の音を改善してほしい。 ○ 睡眠スペースや個別学習スペースを設置してほしい。
まなぼーと大原（団体利用）	○ 建物改築・改装に関する懸念（移転希望を望む声や、現状維持を望む意見あり）。 ○ 施設全般が老朽化している。特に水回り（トイレ・照明の暗さ）や壁の状態が悪い。 ○ 空調や換気設備の個別調整ができるようにしてほしい。 ○ トイレの洋式化や音響機器の更新を望む。 ○ 利用料金の値上げに対する意見。

利用施設属性	意見の概要
いたばし総合ボランティアセンター	○ 防災機能の充実や、わかりやすい表示を希望する。 ○ 飲食可能スペースの設置やカフェなど軽食施設があるとよい。 ○ 展示室の利用効率化や移設を希望する。 ○ 建物・設備の老朽化対策が必要。 ○ 洋式トイレの増設やウォシュレット機能の設置を希望する。 ○ Wi-Fi の全館常設・強化を求める。 ○ 設備備品の充実、電子機器を更新してほしい。 ○ 教室数やキャパシティ増加、予約システムの利便性向上を望む。 ○ 駐輪場へ屋根を設置し、駐輪の列を整理してほしい。
富士見地域センター	○ トイレのウォシュレット設備設置を希望する。 ○ レクホールの広さや使いやすさを改善してほしい。特に、時間帯によってホールを自由に使える仕組みがあるとよい。

■今後に向けて回答

○ 旧板四中跡地の施設に整備してほしい施設や機能はありますか？（自由記述）

分類	主要要望・意見の概要
若者・地域交流拠点	○ 無料で使える会議室や学習スペース、勉強ができる個別・グループルームの設置や、若者が集えるフレンドリーな交流スペースの設置を希望する。 ○ 図書館機能の拡充や多読スペース、勉強ができる静かな環境を整備してほしい。 ○ ICT 設備（Wi-Fi、プロジェクター等）の完備を希望する。 ○ 芸術・文化活動向けの専用教室や、ホール機能、工芸・調理室・楽器演奏などの拠点整備を求める。 ○ 多文化共生の観点から、子どもへの日本語・学習支援など学習支援機能の充実を期待する。 ○ 若者が企業活動等を行える制作・起業支援スペース設置を期待する。 ○ 子どもに配慮した遊び・憩いの場を確保してほしい。 ○ 子育て支援や乳幼児ケア機能も含む交流・学習の複合施設になるとよい。
多目的スポーツ広場	○ サッカー、野球、フットサル等ができるスペースや、子どもたちがボール遊びなどを自由にできる広い屋外スペースを望む。 ○ 小さな子どもと小学生以上で遊ぶスペースが分かれているとよい。 ○ 乳幼児がハイハイなどできる遊び場や授乳室、ちょっとした食品・グッズ販売があるとよい。 ○ バーベキュー場など、広場周辺に憩いのスペースや遊具が充実しているとよい。 ○ バレーボール、卓球などができる体育館の設置や、利用開

分類	主な要望・意見の概要
	放ができるとよい。 ○ 防犯・マナー等配慮の上で、自由に運動ができる場所があるとよい。 ○ 人口芝の素材選定や維持管理によるマイクロプラスチックの発生抑制にかかる代替素材の検討など、環境負荷軽減に対する配慮を求める。
多様な学びの場	○ 日本語や文化講座などができる教室設備の充実を求める。 ○ 誰もが無料で利用できる教室や、学習支援ルームを充実してほしい。
防災力の強化	○ 防災広場を整備し、防災機能を向上してほしい。 ○ 備蓄物資が豊富で、炊き出しなどができる避難所運営が可能な施設整備を希望する。 ○ 広い敷地を活かした火災延焼防止の確保を求める。 ○ 防災学習センターや情報発信機能があるとよい。 ○ AED 設置やスロープの設置等バリアフリーの強化が必要。 ○ 地域住民が気軽に集まれる防災拠点づくりを求める。
その他	○ カフェスペースや休憩場所などがあるとよい。 ○ 日影スペースの設置を希望する。

○ 上記学校跡地周辺の地域で課題だと思うこと、または良いところを教えてください。（自由記述）

良いところ	○ 静かな地域/落ち着いた環境 ○ 治安が良い ○ 公園が隣接している ○ 「板橋」が近い ○ 場所が知られてなじみがある ○ 地域のお祭り、町会の催し、地域の少年野球チーム、消防団の練習・大会実施等に利用されており、地域の間として利用されている
課題	○ マンションが多くなって地域の繋がりが希薄になってきた/町会に入っていない ○ 食事をするところが少ない ○ 少子化問題、出生率向上が必要 ○ 高齢化が進んでいる。 ○ 外国人が増えている ○ 騒音対策、枯れ葉対策が必要 ○ 小さい子どもが遊べる公園が少ない ○ 旧板四中跡地は場所が分かりづらく、少し暗い ○ 新しいマンションが増えて、学校が足りなくなるのではないかと心配 ○ 交通機関から少し遠い ○ 旧板四中の活用活性化とフレンドセンターの特性が相反すること ○ 自転車で利用の場合、自転車の置き場がない ○ 四中、三小学校どちらにしても大原を利用しているものに

	しては遠くなるので巡回バスを出してほしい ○ 施設の周知が不足している
その他	○ もともと学校ができるくらいであるから、本質的には人が集まるところ。安易に宅地などに転用せず、公共の場として維持しようとしているのは良い ○ 「縁切り榎」に来る人がとても増えているので、その方たちに板橋をアピールできるようにしたら良い ○ 会員が高齢なので駅近の場所が良い ○ 大原生涯学習センターは移設ではなくて改装して元の場所に建ててほしい ○ ダンスをするので鏡があると嬉しい ○ 騒音問題を解決できれば、なんとかなりそう

3 小学生向けワークショップ

(1) ワークショップの概要

項目	内容
テーマ	旧板四中の跡地でやってみたい活動について考えよう
対象	板橋区立板橋第八小学校 5年生 52人（参加者 50人） 全8班でのワーク
実施日時	令和8年2月9日（月） 13:25~15:00
会場	板橋区立板橋第八小学校 体育館
目的	旧板四中・旧板三小跡地の施設整備に向けて、子どもたちの意見を取り入れるとともに、ワークショップを通じて施設整備のプロセスを学び、関心を醸成します。
進め方	旧板四中の跡地で子どもたち自身がどのような活動をしたいかを考え、意見交換を行いました。班ごとにアイデアを出し合い、その後、各自が1人につき1つの意見をまとめました。まとめた意見はAIに入力し、生成されたイラストを用いて、各班で発表を行いました。

(2) ワークショップの成果物

【図6】小学生 WS A班成果物



【図 9】小学生 WS B 班成果物



【図 8】小学生 WS C 班成果物
旧四中でやりたいこと



【図 7】小学生 WS D 班成果物



【図 10】小学生 WS E 班成果物



【図 12】小学生 WS F 班成果物



【図 11】小学生 WS G 班成果物



【図 13】小学生 WS H 班成果物

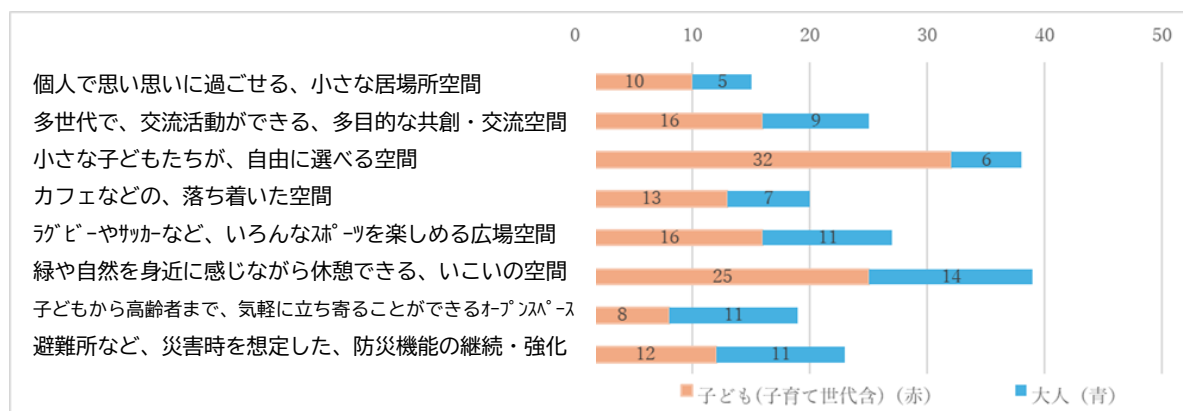


4 さくらの小径まつり意見聴取

(1) 実施概要

開催日時	令和8年3月15日（日）10:00～14:00
内容	○ 旧板橋第四中学校跡地の施設整備計画概要を説明したパネルを展示。 ○ 小学生向けワークショップで作成した成果物を展示。 ○ 「旧板橋第四中学校跡地の施設整備に期待すること」というテーマで、8つの意見をイメージイラストともに掲示し、シールアンケート形式で実施。 ○ 「旧板橋第四中学校跡地の施設整備予定の新たな空間でどう過ごしたいですか」をテーマに自由意見を募集。
参加人数	103人（206票） ※1人2票

(2) 旧板橋第四中学校跡地の施設整備に期待すること



- 全体の傾向をみると、「小さな子どもたちが、自由に遊べる空間」「緑や自然を身近に感じながら休憩できる、いこいの空間」の2項目が多く、主に子どもや子育て世代が期待している傾向にあることがわかりました。
- 大人からは「緑や自然を身近に感じながら休憩できる、いこいの空間」が最も期待されており、それに次いで「ラグビーやサッカーなど、いろんなスポーツを楽しめる広場空間」「子どもから高齢者まで、気軽に立ち寄ることができるオープンスペース」「避難所など、災害時を想定した、防災機能の継続・強化」が挙げられました。

(3) 旧板橋第四中学校跡地の施設整備予定の新たな空間でどう過ごしたいか

- 盆おどりに参加している。
- カフェがあると高齢者が出かけるきっかけになる。
- 環境面に配慮したスポーツ広場の整備を望む。
- マンションで区へ税収を。

(4) 当日の様子



施設整備計画の概要及び小学生ワークショップ成果物を展示



シールアンケートの様子